

早稲田大学 教育学部 地理 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
①	西アジア	最近の国際情勢をふまえた出題である。特に問4のような国際組織の本部が解らないと解答できない難問もあった。	やや難
②	ヨーロッパの2つの河川	ライン川とドナウ川流域に関する地誌で、問2のcなどは地図帳を正確にみていないと解答できない。	標準
③	オーストラリアとニュージーランド	探検家名など難問もみられたが、他は基本的知識で対応できる。	標準
④	中央アメリカ・南アメリカ	ハイチ、チリ、ガイアナ、ブラジルの出題であるが、問3のサンフランシスコ川以外は標準的な問題である。	標準

〔総合コメント〕

<p>地誌重視であり地図帳は十分活用しておくこと。また、時事的な国際情勢の知識がらみの問題もあり、新聞の世界の政治・経済欄は関心をもってよく見ておく必要がある。一方、統計問題も毎年出題されているため、最新の統計資料を利用し活用しておく。</p>
--